

SKY DOG[®] SPORT

vol.23



特集

ジャパンファイナル2012 in 三重津



石渡紀章 & ユツキー

並居る強豪達をおさえて グラチャン初制覇！



19th JFA SKYDOG

JAPAN

協賛

ニッケペットケア株式会社
ネスレ日本株式会社 ネスレピュリナペットケア
株式会社ティー・クリエーション
ブラックウッドジャパンコーポレイション
有限会社 神戸工房

特別協賛

デビフペット株式会社
有限会社 谷尾興産

後援

津市

■ グランドチャンピオンシップ ■

第19代グランドチャンピオンの決戦日、2012年度フリスビードッグ日本一に輝くのはどのチームか?! 天候は晴れ、風は弱風時折無風という絶好のコンディションの中でグランドチャンピオンシップ第1ラウンドは開始されました。3つのピリオドで構成された全70チームでの戦い。第1ピリオドから第2ピリオドにかけては、弱風にもかかわらず、右サイドラインアウトをするチームが多く、全体的にポイントの方も伸び悩みの状況。その後、第3ピリオドに入ってから、やや強い向かい風が入る状況となり、上位24チームのプレーの影響を受ける結果となりました。第1ラウンド方向からのコート状況は、若干右方向に傾くやや下りというコートコンディションが、選手の視覚と競技犬のキャッチタイミングを狂わせたのでしょうか? 第1ラウンドを終わって、40ポイントをとった山本浩隆&ハルキ（ボーダーコリー）チームがトップで折り返し。次いで38ポイントで正木成人&阿修羅（NZヘディングドッグ）チーム、同じく38ポイントで島本圭悟&Beak（ボーダーコリー）チームが並んで2番手で折り返して行きました。

スローイング方向逆サイドに変わっての第2ラウンド。ランキングトップ10をも苦しめた第1ラウンドの状況を踏まえると、第2ラウンドの結果によっては、ほとんどのチームにファイナルステージへ上り詰めるチャンスはあります。勝敗の分かれ道、第2ラウンドの始まりは、やや強風というコンディション。気を抜くと左サイドヘディスクは飛ばされていきます。出だしは混沌とした状況が続く中で、エントリーナンバー56番の石渡紀章&ユッキー（ボーダーコリー）チームが38ポイントを取り、第1ラウンド上位に迫るポイント36ポイントと併せてトータル74ポイント。一つ頭を抜け出しました。その後、第1ラウンド上位陣も必死に食い下がる中で、第2ラウンド最終チームは、2012シリーズチャンピオン福尾光一&GOKOO（NZヘディングドッグ）チーム。第1ラウンド30ポイントからの追い上げなるかというラウンド。ここはシリーズチャンピオンの意地。8P×5本の40ポイントを出し、見事に決勝ボーダライン内に入り込みました。



ファイナルステージ決勝ラウンド

ドは、トップ74ポイントからボーダーポイントは64ポイント。予選5位から7位までの3チームが64ポイントで並んでいる状況。そうそうたるメンバーの中で、10ポイントの差は「僅か10ポイント差」と言っていいいでしょう。

トップバッターは、島本圭悟&Beak（ボーダーコリー）チームが38ポイントというビッグスコアを出しスタート。後続へ十分にプレッシャーが掛かるプレーを見せました。しかし、2番手の助定潤司&RAI（ウィペット）チームも激戦を制してきたベテラン選手。38ポイントを出して並んできます。この2チームの競り合いが後続を脅かしたか、予選第2位を迎えるまで、優勢ポイントを出すことができません。ここまで102ポイント2チームが並んでトップ。ここで登場したのは2012年間シリーズチャンピオン福尾光一&GOKOO（NZヘディングドッグ）チームですが、8ポイントが3本続いた4投目にまさかのミスが発生し緊張が走ります。そして迎えた5投目は8ポイントと真ん中に吸い込まれてキャッチをして32ポイント獲得。

波乱が起きるのはグランドチャンピオンシップの定め。合計102ポイントでこれまでのトップチームと3チームが並びます。いよいよグランドチャンピオンシップ決勝ラウンド最終チーム、石渡紀章&ユッキー（ボーダーコリー）チームの登場。勝ち上がりポイントは、29ポイントで優勝が決定します。今日一番の確実なポイント構成で上がってきたチームだけに、3投目まではロングミドルを併せて22ポイントを獲得。5投勝負のタイムコントロールで残り2本は外せない状況で、第4投目が4ポイントに入る。そして勝敗の分かれ目となる5投目はミドル6ポイントで確実に決めました。結果、多きフリスビードッグファンチャーの中で、ディスタンス日本一の座、2012年度グランドチャンピオン「フリスビードッグ日本一」には、神奈川県石渡紀章&ユッキー（ボーダーコリー）チームと決定しました! おめでとうございます!!



FINAL 2012 in 三重津

主催：日本フリスビードッグ協会 会場：中勢グリーンパーク

第19回を迎える事となったジャパンファイナル・フリスビードッグ日本一決定戦。今年は、三重県津市での開催となり、三重県での開催は4年振り3度目となりました。

2004年・2008年、そして2012年。正にオリンピックイヤーでの三重県開催…。既にディスタンス競技に於いては世界一の称号を与えても過言ではない程の技術とスキル（能力）を持つ選手と愛犬たちにとっては、三重県での決定戦は縁深いものではないかと思えます。

3日間開催の今大会は、若干の風はありましたが天候には恵まれた大会となり、多くの友人や家族が見守る中連日すばらしいゲームが行われた事に感謝致します。

会場誘致にご尽力いただきました畑中さんありがとうございました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

年間を通してご協賛頂きましたスポンサー各社様、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

■ フリーフライトチャンピオンシップ ■



フリーフライトチャンピオンシップのファーストステージはショートプログラム（規定演技）セカンドステージはフリープログラム（自由演技）と両ステージの合計ポイントで競いチャンピオンを決定します。13チームが1年の成果を愛犬とのチームワークで表現し勝負に挑みます。

ファイナル2日目は、朝から強い風が吹き荒れ日頃の成果を発揮

出来るかが重要となりました。その中でも確実に技を決めショートプログラムトップに立ったのは、同ポイントの93.1ポイントで澤幹子&SID（ボーダーコリー）チームと間美加&Digital（ボーダーコリー）チームです。昨年度のチャンピオン澤幹子&AILA（ボーダーコリー）チームは90.5ポイントとフリープログラムでの追い上げを計り2連覇を目指す展開となりました。風は時折弱まる事もありますが、競技は2分間。ラウンド中の風の強弱は演技への影響がある事も選手は十分に理解しています。

そして迎えたフリープログラム。いよいよチャンピオンが決定します。大舞台に立てた喜びを噛みしめ、風など気にせず、今出来る事を精一杯楽しく、自分達のプレーを披露している姿が映るフリープログラム。上位3チームに割って入る勢いで南浩一&GLORY（ボーダーコリー）チームと川又奈緒美&らびゅ（ボーダーコリー）チームが得意のパフォーマンスを見せ追いつきます。間美加&Digital（ボーダーコリー）チームも昨年入賞を逃した悔しさを胸の内に秘め息の合ったコンビネーションプレーを披露します。澤幹子&AILA（ボーダーコリー）チームは年間チャンピオン・そして2連覇を賭けての大勝負。圧巻の演技でパーフェクトに近いプログラム構成で魅了し見事に優勝（2連覇）を成し遂げました。



■ レディースチャンピオンシップ ■

55分の1。選ばれし女性戦士のみのチャンピオン決定戦は2001年の第1回から始まり今年は第12回目となります。

年々レベルも上がり大混戦と予想され

た今大会に「優勝候補」というチームは存在するのか…？ファイナルの舞台では全くの白紙。それだけに予想と想像以上のことが起きることは言うまでもない。

風の影響はあるものの、ランキングカウントダウン方式の予選ラウンド。ポイントという目に見えるプレッシャーが、目と耳から入ってくるのはランキング上位陣の定め。これに投げ勝ちプレッシャーを感じながらも愛犬と無になり、一つになった時こそ結果というものがついてくるのでしょうか。

見事に55分の7に入ったファイナリストを紹介します。杉田春美&ドビー（ボーダーコリー）チーム（三重県）。渋谷典代&疾風（ボーダーコリー）チーム（岡山県）。八幡瑛菜&DIESEL（ストロングアイ）チーム（兵庫県）。木田和夏&Jewel（ボーダーコリー）チーム（大阪府）。木田和夏&LittleNavajo（ボーダーコリー）チーム（大阪府）。谷越雪絵&環菜（ボーダーコリー）チーム（岩手県）。西前まな美&SUN（ボーダーコリー）チーム（熊本県）。安定度・得点力・爆発力等々個性豊かな7チームが出揃う中、なんと昨年のレディースチャンピオンシップファイナリストが4チームもいる状況に！

55分の7から55分の1へのファイナルラウンド。予選同様に厄介な風が選手にプレッシャーを吹きつけ苦しめる。そして目に見えないプレッシャーも選手に試練を与える。ドビー・疾風・DIESEL・Jewelと続く決勝ラウンドのポイントは1ヶ台とポイントが伸びてこない。あとは、2ポイント差の中での上位3チームの戦い。接戦の末、55分の1の頂点には、谷越雪絵&環菜（ボーダーコリー）チームが79Pで予選2位からの逆転優勝で悲願のクイーンの座に輝きました。続いて1キャッチ5ポイント差で準優勝に西前まな美&SUN（ボーダーコリー）チーム74P。第3位に木田和夏&LittleNavajo（ボーダーコリー）チーム70P。が入り2日目の幕を閉じました。



■ スモールドッグチャンピオンシップ ■



2012年度ジャパンファイナル最終日。開会式セレモニー「殿堂犬認定式」で認定コールを受けた殿堂犬の中に、四方田太陽（ウェルシュコーギー）号の姿がありました。初の小型犬

での殿堂犬が選ばれた記念すべき日のスモールドッグチャンピオンシップの開幕。35チームによる熱き小型犬達の戦いの開始です。

第1ラウンド開始早々、風向き強さが小型犬には厳しいコンディションだったでしょうか、ポイントは最高でも10ポイント台にとどまるチームが続く中で、ベテラン土田雅志&栗の介（ウェルシュコーギー）チームが、他チームを一気に離す30ポイントマーク。そこに食い下がるのは、待ち受けるランキング上位のチーム。加藤智一&ボルト（ウェルシュコーギー）チームが26ポイント。同じく26ポイントで、ランキングトップの意地を見せたのが、平岡喜代&十夢（ビーグル）チーム。この3チームを先頭集団として、第2ラウンドへ折り返します。

ファイナルステージ決勝へは5チーム+αの席が用意されています。後続のチームも第2ラウンド勝負となる状況の中ですが、ポイントが伸びてこない。健闘する各チームの中で、決勝進出の分け目となるボーダーポイントは、第1第2と平均的に10ポイント台中盤を獲得してきたチームの接戦となりました。

ファイナルステージ決勝ラウンドトップ通過は、54ポイントで加藤智一&ボルト（ウェルシュコーギー）チーム。第二位通過に僅かに1ポイント差で土田雅志&栗の介（ウェルシュコーギー）チーム。1位から5位までのポイント差は20ポイントと離れているものの、表彰台への夢は捨て切れません。3位と4位タイの差は13ポイント。最後まで何があるかわからないのがジャパンファイナルです。

決勝ラウンド、トップバッターは藤田浩子&マイロ（ジャックラッセルテリア）チーム。第2投目までは順当にポイント獲得なるが、その後痛恨の2ミスが入り、惜しくもこの時点で優勝戦線からは離脱。同じく34ポイントで平岡喜代選手が、十夢（ビーグル）に次いで、百子（柴犬）とのチームで4位の位置から23ポイントと期待の持てるポイント獲得。ここで予選トップの54ポイントをクリアしていきます。

しかし、ここからは決勝進出上位3チーム。順当に予選トップポイントをクリアし、最終チームの予選トップ加藤智一&ボルト（ウェルシュコーギー）チームにプレッシャーを掛け迎えます。

最終最後、やはりかなりのプレッシャーになったのでしょうか。第1投目コートアウトに加え、第2投目も痛恨のミスキャッチ。最終ラウンドのポイントを加えて、なんとか表彰台の座は譲らず3位にて確定。

結果、予選トップは譲ったものの決勝ラウンドも高ポイント28ポイントを獲得して堂々の優勝は、2010年に続き、土田雅志&栗の介（ウェルシュコーギー）チームでした。おめでとうございます！！



■ ユースオープンの部 ■

未明から降っていた雨も小雨程度にとどまり、選手入場の時には天も味方に雨も上がってくれました。若干の風もある中ユースオープンの部チャンピオン決定戦がスタートしました。2003年から数えて今回で10回目となる団体戦では、9都府県から36チーム。個人戦では76チームという中から各々チャンピオンが決定します。

団体戦2連覇を狙う東京都チーム。昨年のリベンジに燃える福岡県チームと愛知県チーム。いずれも個人ランキングでは上位陣が集い団体戦初優勝を目指します。混戦が予想される中団体戦決勝ラウンドへ進出したのは、予選上位から福岡県166P・東京都153P・兵庫県150Pの3団体。

ポイント差は16ポイントと個人戦では厳しいポイント差となる所、団体戦は1団体4チーム構成のため4ポイント差と思っても良い程、差は無いものとなる。

4チームが一つとなり見事にチーム戦を制したのは、昨年2位で涙をのんだ福岡県チームがリベンジの初優勝となりました。個人戦では、1・2ラウンドの合計ポイント70Pと、2012シーズン後半から頭



角を表してきた福井県の五十嵐拓也 & Barca（ボーダーコリー）チームが圧倒的な強さを披露しタイトルを勝ち取りました。

■ シニアドッグの部 ■

7歳を超えたベテランわん子たち。もちろん選手（投げ手）も大ベテランが揃ったシニアドッグの部チャンピオン決定戦は24チームが出場となりました。

長い間フリスビーを楽しんできた愛犬は年々歳をとるのも自然の定めとなりますが、まだまだフリスビーキャッチの執念は衰えません。いかに選手が愛犬をフォローしてフリスビーを投げ、大好きなフリスビーをキャッチさせてあげるかが重要です。決勝ラウンドは5枠ありますが、楽しんだ結果、決勝へ行ければ良いというオーナーさんがほとんどでしょう。

予選トップはパーフェクトキャッチで、昨年度のチャンピオン宮迫裕二 & TRAD（ボーダーコリー）チームが58P。予選第2位には遠山由美子 & SARA（ボーダーコリー）チームが50P。第3位には河野和則 & ラブ（ラブラドル）チームが50P。第4位には松本毅 & NOEL（ボーダーコリー）チームが41P。第5位には中川祐子 & クララ（ボーダーコリー）チームが41Pと各地域の顔とも言えるチームが決勝進出です。

あと1分間もっともっと愛犬と楽しもうと望んだ決勝ラウンド。コートの周りには応援団で全て埋め尽くされています。

大応援の中、宮迫裕二 & TRAD（ボーダーコリー）チームが決勝も唯一パーフェクトキャッチで2連覇達成となりました。

■ ジュニアオープンの部 ■

2012年度シーズンはアンダー14としてジュニアオープン選手権を設定。(14歳以下の選手が出場出来るカテゴリー) 予選会での参加はありましたが、ファイナル棄権チームもあり、今回は2チームのガチンコ対決となりました。



富恵圭人君(9歳)&あんず(ボーダーコリー)チーム VS 近藤匠真君(10歳)&なな(ボーダーコリー)チームと同学年同志の対決。勝敗の行方はいかに…。

予選第1ラウンド難しい条件の中先攻の匠真君4投キャッチで27Pをゲット。後攻の圭人君はあんずとのタイミングが合わず1キャッチ7Pと出遅れてしまう状況に。

予選第2ラウンドは更に難しい条件となり、両チーム無得点で終了し、勝負は最後の決勝ラウンドへと移ります。

決勝ラウンドは、圭人君が先攻で匠真君を追いかけて逆転を狙います。あんずとのタイミング・スローイングも見事に決まり20Pを追加して合計27Pで匠真君のポイントに並びます。

1キャッチすれば優勝が決まる匠真君の決勝ラウンドとなりましたが風の条件は難しいのと、優勝へのプレッシャーもあることでしょう。1投目はキャッチなりませんでした、2投目でロングレンジ8Pを決め同級生対決は本当のガチンコ対決で遠藤匠真&なな(ボーダーコリー)チームの優勝となりました。

■ ペアの部 ■

毎回、様々な組み合わせでの出場が多いペアの部チャンピオン決定戦。今年は18チームが頂点を目指します。

予選1ラウンドは決勝進出への一発勝負となるため爆発力があるペアが有利か…。しかし風の影響等もありなかなか点数が上がって行かない予選ラウンド。

各ペア苦しみながらも決勝へ進出した5チームは、上位から34Pで麻生実希・田口京介&フレイア(ボーダーコリー)ペア。32Pで安田教子・安田伸之&POOKY(ボーダーコリー)ペア。31Pで池谷愛美子・池谷岳人&LIO(ボーダーコリー)ペア。30Pで菅野洋子・菅野欣一郎&ウィンディー(ボーダーコリー)ペア。26Pで八幡瑛菜・島本圭悟&Lark(ボーダーコリー)ペア。

5チーム間のポイント差は8ポイントと、ロング1本の僅差。どのペアが勝つか全くわからない状況となり決勝ラウンドがスタート。風向きも選手を苦しめる困難な向かい風となった。

予選5位の八幡瑛菜・島本圭悟&Lark(ボーダーコリー)ペアは7投中ロング2本・ミドル2本成功の28Pを獲得して、上位4チームにプレッシャーをかける展開にもちこみます。上位ペアも風に苦しめられポイントが伸びずに終了となり、結果は予選5位から大逆転で八幡瑛菜・島本圭悟&Lark(ボーダーコリー)ペアとなりました。

● 2012年度表彰式典

ジャパンファイナル大会2日目の競技終了後、各競技の年間チャンピオン・連続出場・高ポイント記録などを表彰を行う『2012年度表彰式典』が行われました。

連続出場では、松尾NOVAが、グランド・レディースの2部門で「10年連続出場」という偉業を達成。また、MIP(年間を通して最も成長したプレーヤー)には、栃木県の湯本智&ロビン(ボーダーコリー)チームが選ばれました。



● 新たに3犬が殿堂入り

ジャパンファイナル2012最終日の11月25日、開会式においてフリスビードッグの普及に多大なる貢献をされた3犬を「殿堂入認定」といたしました。

今回、殿堂入りを果たしたのは、早川&BEAT号、松尾&NOVA号、四方田&太陽号です。



※早川&BEATは当日欠席



グランドチャンピオンシップ

優勝 石渡紀章&ユッキー

昨年からオープンクラスにステップアップし、今年で2年目。ルーキーイヤーではたいした戦跡も残せないものの、新人賞を頂きました。

そして、今期序盤、まずまずの滑り出しをしましたが シーズン中盤に来て失速…、スランプに陥ってしまいました。

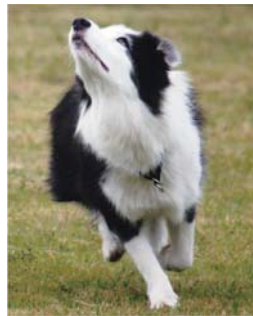
ユッキーの妹 ディオネの受け渡しうまくなっていく反面、ユッキーとのプレー（スロー）が悪くなって、修正が効かなくなっていました。

仕事の関係上、いつでも大会に参戦することも出来ない。

夏場の暑い時期にもエントリーしていかなければならず、ユッキーに無理をさせてしまいました。

もともと繊細で臆病。ディスク欲もさほど強くはないユッキー、このころになると大会中ディスクを追わなくなったり、動きが鈍かったり…。酷い時には、1投投げて後は走らなくて、そのままプレーを止めた時もありました。

スランプのままシーズン終盤に突入。ワンデいで遠征もしましたが、いい結果にはつながらず、順位はボーダーライン上のまま迎えた磐田の最終戦。久々にいいゲームも出来、何とかランキングに残ることが出来ました。



津ファイナルでは、妻がレディースにて思うようなプレーが出来ずに悔しがっていました。

その思いを胸に立った1R目。5投パーフェクトで38Pでなかなかいい位置でのスタートでした。

2R目右風に2本ディスクが流れるもユッキーがナイスフォローで38P。トータル74Pで自己ベスト更新。しかもトップで予選通過。

周りを見ると当然ながら自分よりも上位チームのみが決勝に上がってきていました。

迎えた決勝ラウンド。緊張のあまりスローは完全に乱れミススローの連発でしたが、ユッキーのフォローで32P。トータル106Pと今期ベストスコアで逃げ切ることが出来ました。

今期シーズン途中からユッキーの年齢のことも考え、来期はディオネとプレーをし、ユッキーとのプレーはこのファイナルで最後とっていました。

何とか出場できたこの大舞台で、最高のパフォーマンスを見せてくれたユッキーに本当に感謝したいと思います。

我が家が、大会で楽しくプレー出来るのも、家族はもちろんの事、悩みを親身になって聞いてくださる先輩方や、お友達。また、地元の仲間達のお陰だと思っています。

この場をお借りして お礼を申し上げたいと思います。有難うございます。

最後に、今年一年大会運営に当たって頂いた本部をはじめ、各地スタッフの皆様、本当にご苦労様。そして、有難うございました。

来期、再度 ユッキーとのベストプレーを目指して頑張っていこうと思います。



レディースチャンピオンシップ

優勝 谷越雪絵&環菜



最初に、2012年シーズン、そして、Japan Final 参加の皆さん、お疲れ様でした。

今回で5回目の環菜とのレディースチャンピオンシップ出場。これまで3度の決勝進出のチャンスはありましたが、優勝までにはなかなか届かず…。

そして、今回4度目の決勝進出、夢だった『優勝』という2文字を獲

得することが出来ました！

うれしい気持ちでいっぱい、それもこれも一番に頑張ってくれた環菜と応援してくれた方々のおかげと思っています。

ほんと、ありがとうございました。

もうすぐ2013年シリーズが始まります。ゼロからのスタートです。また1年、いくつかの目標を決めて、環菜とのプレーを楽しんで頑張っていきたいと思います！！

JFA スタッフの方々、大会参戦の皆さん、今期もよろしくお願いします。



スモールドッグチャンピオンシップ

優勝 土田雅志&栗の介

「栗の左前脚の様子がおかしい」そう気付いたのはジャパンファイナルをちょうど一週間後に控えた土曜日の朝。近所のグラウンドで朝練を終えて帰宅した直後のことでした。

触っても特に痛がる素振りはありませんでしたので、痛み止めを飲ませて様子を見守ることに。

重苦しい雰囲気の中2日が経過。

しかし脚を浮かせた状態に変化が認められないことから、かかりつけの病院へ。診断結果は関節炎で、5日間は激しい運動を禁止するようにと念を押されました。

散歩も控えるようにして過ごした数日間。途中何度もキャンセルという言葉が頭の中を過ぎりましたが、「とりあえず会場までは行ってみよう」それが我が家の下した決断でした。

途中の寄り道計画も総て白紙に戻し、440kmの道のりを会場まで一目散。約一年ぶりで再会する仲間達への挨拶もうわの空のまま、まずは会場周辺の散歩。脚の状態に異常はなく、いつも通りの元気な姿にほっと一安心。そして迎えたジャパンファイナル最終日。一度も走らせることなく、ぶっつけ本番でコートに立つことに。

栗が無事に戻ってくることだけを願って臨んだラウンド。一投一投ごとに安堵と感謝の繰り返し。結果的に、欲が頭をもたげる余裕が全くなかったことが幸いし、思いがけず2度目のスモールドッグチャンピオンという栄誉を手にすることができました。

2012シーズンを振り返ると、大石シエル、赤羽根ロビ、藤原ハジメ、三崎ミュウといった、栗の介チームの目標であり、ライバルであった多くのワンコ達が虹の橋を渡りました。またファイナルの直前には、ノミネートを目指し、一年間共に戦ってきた前野花ちゃんが、最愛のママのもとから突然旅立って行きました。出場チーム数が揃わず、大会成立さえままならない状態が続く公式小型犬のカテゴリーではありますが、諸先輩の思いを絶やさぬよう、次の世代へと引き継いでいくことが、残されたチームの課題だと思っています。

「栗君へ。へなちょこスローで迷惑ばかりかけるけど、もうしばらく頑張ろうね。これからもよろしくお願いします！！」





フリーフライトチャンピオンシップ

優勝 澤 幹子 & AILA

2012 年お疲れ様でした。

今年は自分にとっていろいろとあった一年でした。

つくばへ初めて遠征して、関東の人たちと仲良くさせて頂いた事。会場で何時もと違う皆さんに応援の言葉をかけて頂いて、新たな気持ちでシーズン後半戦に挑む調整をしていた八月。

標識を無視した車に当てられ事故に遭いました。

幸いにもむちうちだけで済みましたが、自分の体が全く思うように動かない、頭すら上げれず練習も出来ず、泣いて過ごす日々でした。

もう自分はフリスビーを力いっぱい投げられないのか、一体いつ治るんだろう。

夜も痛みで寝れない日々を過ごしました。

同乗していた娘や犬達には何も無かったのですが、アイラはその日から車に乗ることを拒むようになりました。車に乗る気配がすると家の中で隠れ逃げるようになってしまいました。飛行機でのシドの里帰りが翌月に控えていて、アイラも一緒に行くのに。

アイラの心のリハビリを優先し、家族にも手伝って貰い、一ヶ月かかってやっと完治した頃、三年越しのシドの里帰りが叶いました。

今年はアイラの二連覇とシドのファイナル初参戦。

どちらとも最終戦まで、お互いの気持ちが通じ合えないままシーズンが終わってしまいました。

ファイナル前に二頭と練習していた時、アイラと気持ちが通じ合えた、そんな日がありました。この日の為に自分は懸命にアイラとやってきたんだ、そう思えたのがファイナル三日前。

今年はアイラの二連覇とシドのファイナル初参戦。

どちらとも最終戦まで、お互いの気持ちが通じ合えないままシーズンが終わってしまいました。

ファイナル前に二頭と練習していた時、アイラと気持ちが通じ合えた、そんな日がありました。この日の為に自分は懸命にアイラとやってきたんだ、そう思えたのがファイナル三日前。

当日は朝から結構な風が吹いていました。 1 ラウンド目。

シドにもアイラにも序盤風に気持ちが負けてしまって不甲斐ない内容でした。規定の点数を見てシドとアイラに大差は無い、特に 2 ラウンド目に関しては今までやってきた事をきちんとやる、それだけしか自分には出来ない、そう思いました。

ファイナル前に二頭と練習していた時、アイラと気持ちが通じ合えた、そんな日がありました。この日の為に自分は懸命にアイラとやってきたんだ、そう思えたのがファイナル三日前。

当日は朝から結構な風が吹いていました。

1 ラウンド目。

シドにもアイラにも序盤風に気持ちが負けてしまって不甲斐ない内容でした。規定の点数を見てシドとアイラに大差は無い、特に 2 ラウンド目に関しては今までやってきた事をきちんとやる、それだけしか自分には出来ない、そう思いました。

2 ラウンド目。

コートが変わったので風の吹き方が違いました。シドのミスを誘発するような事はしないようにしましたが、やはり気持ちが風に負けている、そんな風に感じました。

1 分位した頃、このコートの風が今読めた！ そう思いました。シド、ごめん。 もう少し早く読めていたら...

けれどアイラにはこの自分が読んだ風できっと必ず上手く合わせる事が出来るはず。そう思いながらアイラを迎えに行きました。

アイラとの自由演技での二分間、この一年で一番気持ちが通い合えた内容だったと思います。アイラとの練習がファイナルで精一杯出せた事は自分にとっても今後の自信に繋がったと思っています。

スパイダーマンのテーマで蜘蛛が巣をかけるようにアイラと演技する、そういった内容で演じ切れたと思っています。

結果はアイラが優勝でシドは三位でした。

何よりも嬉しかったのが、今年からの公式フリーフライトのトロフィーに最初にアイラの名前を載せて頂けた事を本当に光栄に思っています。

最後になりましたが、JFA の皆さん、友達、そして家族。

本当に何時も有難うございます。

これからアイラやシド、他の犬達と頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。





ユースオープンの部(個人)

優勝 五十嵐拓也 & Barca

このタイトルは絶対にとりたかった。

毎日、長男 一天、長女 すず穂 (娘)、次男 Barca と奮闘している妻に感謝を込めプレゼントしたかったからです。

私のフリスビーとの出会いは先住犬の一天を迎えてから始まります。

ここで、オバマ愛犬ファームファミリーに心温かく迎え入れて頂き、そして、私の師匠 石田 豊さんから多くのご指導を頂いたこと、心より感謝申し上げます。

正直、春先までは Barca とのコンビも出来ておらず、今シーズンはチャレンジカップを目指そう、慌てずゆっくりと Barca とフリスビーを楽しもうと考えていましたが、急遽、ユースでのジャパンファイナルを目指すことになり、なんとか出場権利を得ました。

その間、Barca とのコンビも徐々に良くなり、いろいろな方から声を掛けて頂き、多くの仲間が出来たことを嬉しく思っています。

試合当日、夜中からの雨が上がったものの、足元は悪い状態。今までの課題の受渡しをしっかりと、5 投コート内に収めれば、Barca がキャッチしてくれると信じ、ゲームに入りました。



Barca に助けられ、「個人戦 優勝」の結果。

応援していただいた方々、本当にありがとうございました。

来シーズンも、「けがをせず、楽しく」をモットーに Barca の笑顔を見ながらフリスビーを楽しみます。



ユースオープンの部(団体)

優勝 チーム福岡

● 田口京介 & フレイヤ

今年の目標は、ユースオープン団体戦での優勝！昨年、初めてのジャパンファイナル。

意気揚々と参加したものの、いざコートに立つと緊張し、満足なスローができず、福岡チームにも迷惑をかけてしまいました。

それでも 2 位になったのは、チームのみんなのおかげでした。そして、今年。昨年の忘れ物を取りに来ました。

メンバーは、1 チーム入れ替わってあとは同じメンバー。日頃、九州の大会で仲良く戦っているチームです。

第 1 ラウンドは 28 p、まずまずの出でした。第 2 ラウンドは、一投目、ディスクが右にそれて場外へ。

昨年の悪夢の再来か（昨年は、第 2 ラウンドの 1 & 2 投目が同じ方向で場外へ）と思いましたが、何とか立て直し、24 p とれました。

予選はトップ通過。今年こそは決勝ラウンドを迎えました。決勝では、30 p を出すことができ、チームに貢献できてよかったです。そして念願の優勝！

4 チーム、それぞれが持ち味を出し、勝ち取ることができました。初めてのウイニングランは、感激で胸がいっぱいになりました。今大会の大切な思い出です。

また、後ろで応援してくれた「チーム九州」の温かい声援も大きな力になりました。この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思い



ます。ありがとうございました。

ユースオープンの団体戦は面白い。何とも言えない緊張感と高揚感。そして、仲間との連帯感。この醍醐味を味わってもらう次の福岡チームにバトンを渡したいと思います。

フレイヤはユースオープンを卒業し、来年度からはグランドチャンピオンシップをめざして「公式」の場でがんばります。

● 川嶋久美 & SWAN



今年のファイナルはユースで二回目の出場となりました。

昨年も福岡チームの一員として参戦してたのですが、何の戦力にもなれず、残念な結果で終わりました。

ディスクを手にして丸三年、中々上達せずにいた私を、周りの皆さんが根気良く指導して下さいのおかげで、今年は戦力となった…はず。

本当に皆さんありがとうございました。

そしてスー君。お母さんの下手くそなスローにもめげずに、いつもしっかりキャッチしてくれてありがとう！

今後も一緒にたくさん楽しもうね。

ディスクって、楽しい(^_^)

● 竹内敏洋 & Alex

アレックスが我が家に来て 4 年、初めての飼犬です。当時はボーダーコリーという犬種さえも知らなかった。子育ては当然初めて、試行錯誤の繰り返しで、馴れあうまでできません。フリスビーもへたくそ。そんな状態なので苦労が絶えませんでした。

しかし、良い友達に恵まれ、良い先生に出会い、徐々にアレックスも私も苦しい時期を乗り越えていきました。

2 歳半になったある日の事、突然アレックスの手元が良くなり、それにつられて私の投げ（今でもへたくそですが）が安定して、フリスビードッグとしてのチーム力がアップしました。

昔は「犬がねー」、今は「犬はいいけど、投げ手がねー」と言われます。

さて、ジャパンファイナルは今年で 2 回目。

去年は、衣装にこだわったものの、団体戦では、福岡県チームに貢献できませんでした。今年は、去年より、アレックスも私も成長したので、とにかく、平常心で望もうと思っていました。

勿論目標は優勝です。

ところが、いざ本番になると、やっぱり緊張してしまいますね。また、団体戦の雰囲気もいつもと違います（それなりに面白いんですが）。そんな私の気持ちの乱れがアレックスにも伝わり思うような試合が今年も出来ませんでした。

3 R で私が 2 回のダッシー、アレックスも 1 回弾くなどいつもの堅実なプレーができませんでした。

しかし、チームメートのすばらしい活躍で、福岡県チームは、念願の優勝を果たすことが出来ました。その日の晩の祝勝会で優勝カップで飲み干したビールの味は格別でした。チームメートや応援してくださった皆様この場をお借りして御礼申し上げます。

最愛のアレックスと、楽しくフリスビーが出せる喜びをいつまでも分かち合って行きたいと思っています。フリスビードッグを愛する皆さん、今後ともよろしくお願い致します。



● 富恵 博 & らっきょ

思い起こせば3年前 JFA 直方大会で保護犬として見学したのがらっきょとフリスビーとの出会いです。らっきょは、宮崎県の保健所から某保護団体様により救い出された子です。縁あって我が家の子となり、フリスビーを初めて丸3年、まさかこんな大舞台のセンターコートで一緒にプレーできるとは考えもしませんでした。



舐め何も全く入っていないらっきょをここまでご指導いただいたクラブの皆様や、たびたび大脱走&コートのネットに魚の様にかかり破壊したらっきょを温かく見守ってくださった JFA の皆様に心から謝罪と感謝を申し上げます

また、今のらっきょと私のスキルでは到底、このセンターコートに立たせてもらえるなど無理だった我々を県の一員として迎え入れてくれ、優勝という素晴らしい思い出をくれた、我が福岡県の最高のメンバー3人にも心から感謝しています。とにかく、メンバーの足を引っ張る事のないようにと大変緊張しましたが、らっきょも暴走することなく無事に終えて本当にホッとしています。

何より、我々家族をこの三重県の地までつれてきてくれ、ジャパンファイナルという輝かしい大会にチャレンジできる機会を与えてくれたらっきょに「ありがとう♪ 今日馬肉の大盛りだよ!」と言ってあげたいです(笑)

最後になりますが、JFA スタッフの皆様、一年間お疲れさまでした。来年もまた、あんずとらっきょ共々よろしく願いいたします!



ジュニアオープンの部

優勝 遠藤匠真 & なな

ななが僕の家に来たのは、幼稚園の年長の時でした。小学校1年生の時にフリスビーを始めました。

最初はななど楽しむ為にフリスビーをやっていて、その時は、ファイナルに出場するなどと思ってみませんでした。

2011年、兵庫県淡路島のファイナルでは、子供大会低学年の部で5位でした。

僕よりもずっとうまくフリスビーを投げられる子や足の速い犬、必ずキャッチする犬がたくさんいておどろきでした。

そして、次は優勝してトロフィーをもらいたいという気持ちができてきました。

だから、今回優勝して、僕の名前が残せてとてもうれしいです。

今までうまく投げられない時やなながキャッチしてくれない間などスランプはたくさんあったけれど、僕がここまでこれたのは、たくさんの人のはげましや応援があったからです。ありがとうございました。

とてもいい経験ができて、僕はとても幸せです。続けてきて本当に良かったです。

これからも、たくさん練習して、ななどと一緒にがんばります!!



シニアドッグの部

優勝 宮迫裕二 & TRAD

昨年、淡路大会で親子3頭によるファイナル参戦も終わりかと思いつつ、走ることが楽しくて、嬉しくて、フリスビーが大好きなTRADがシニア優勝という偉業を成し遂げてくれました。父親のIVYが2007年度に優勝し、長男も肩を並べてくれたことにとても感動しました。

そして今年、ポイントランキング制度等に変更になり、シニアであるIVY・TRADに無理をさせたくない、したくない想いの中でこの1年大会参加をしてきました。

ファイナル参戦に向かう時、昨年まではとても緊張しプレッシャーを感じつつの参加でしたが、人犬とも年を重ね気負うことなくリラックスして三重津の会場へ向かい、ゲームを迎えることと…。

ゲーム中も、TRADと楽しむことが出来、1R 6×5 30p、2R 6,6,4,6,6 28p、計 58p、予選1位で決勝進出。決勝ラウンド、一投目想定どおりのコーン外回り呼び戻して、6,6,6,8 26p、合計 84p。

「JF シニア大会優勝! 2連覇!!」を果たしました。

縁あって今年の9月、8頭の子供達の父親になったTRAD。子供達の応援のおかげで、父親としての勇姿を見ることができました。

「父ちゃん頑張ったぞ!!」

IVYから始まった我が家のフリスビー、来年には14年目のシーズンを迎えます。IVYは顧問として、TRADをトップにRALPH、新星BROOKSの4頭で怪我をしないように、楽しんで行ければと思う今日この頃です。

最後になりましたが、大会参加の際お世話になり、また、応援していただいた方々にこの場を借りてお礼申し上げ、参戦記とします。

「ありがとうございました。」



シニアドッグの部

優勝 八幡瑛茉・島本圭悟 & Lark

ペアで圭悟さんとファイナルに出場したのは今年で2度目。昨年は相棒がDIESELでしたが今年はLark。右投げのディスクしかとった事なかったLark、初めは私の左投げのディスクを全然キャッチできなくて…。正直、取ったポイントがほぼ圭悟さんのポイントだったので、すごく悔しかったです。

何回かLarkに投げているうちに、Larkには私の左から回ってくるディスクがとりにくかった事が分かり、なるべくを左から回さないようにしていました。いつもDIESELと出ている時はDIESELに助けられっぱなしですが、Larkとペアに出て、犬にあったディスクを投げる事の大変さを身にしみて知りました。

ファイナル当日。日によって波のある私の投げ。朝から緊張し過ぎて何も食べれなくて(これは、いつものことなんですけど…)、ペアは1R勝負なので今回ばかりは今回ばかりは失敗できないと思っていました。

Larkが頑張って私達のディスクをキャッチしてくれたので、何とか5位通過で決勝に残ることができ、すごく嬉しかったです。

決勝では、風が私たちに味方をしてくれて、すごい風の中、ポイントもとる事ができ優勝することができました。優勝が決まった瞬間は、昨年とは違う喜びがあって、すごく、すごく嬉しかったです。

最後に、苦手な私の左投げのディスクをキャッチしようと一生懸命走ってくれたLarkに本当に、本当に感謝です。

Lark, ありがとう!

そして、私とペアを組んでくれた圭悟くん、応援していただいた皆様、本当にありがとうございました。

(八幡瑛茉)



JAPAN FINAL 2012 in 三重津

■ グランドチャンピオンシップ 決勝進出チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	石 渡 紀 章	ユッキー	神奈川県	ボーダーコリー	106
2	助 定 潤 司	RAI	兵庫県	ウィペット	102 ^{EX}
3	福 尾 光 一	GOKOO	岡山県	NZヘディングドッグ	102 ^{EX}
4	島 本 圭 悟	Beak	徳島県	ボーダーコリー	102 ^{EX}
5	山 本 浩 隆	ハルキ	秋田県	ボーダーコリー	98
6	川 崎 忠 男	Kicca	静岡県	ボーダーコリー	94
7	湯 本 智	ルディ・エクレール	栃木県	ボーダーコリー	86

EX: エクストララウンドにて順位決定

■ レディースチャンピオンシップ 決勝進出チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	谷 越 雪 絵	環菜	岩手県	ボーダーコリー	79
2	西前まな美	SUN	熊本県	ボーダーコリー	74
3	木 田 和 夏	Little Navajo	大阪府	ボーダーコリー	70
4	木 田 和 夏	Jewel	大阪府	ボーダーコリー	61
5	渋谷典代	疾風	岡山県	ボーダーコリー	60
6	杉 田 春 美	ドビー	三重県	ボーダーコリー	55
7	八 幡 瑛 菜	DIESEL	兵庫県	ストロングアイ	52

■ スモールドッグチャンピオンシップ 決勝進出チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	土 田 雅 志	栗の介	埼玉県	ウェルシュコーギー	81
2	平 岡 喜 代	十夢	奈良県	ビーグル	73
3	加 藤 智 一	ポルト	宮城県	ウェルシュコーギー	62
4	平 岡 喜 代	百子	奈良県	柴犬	57
5	藤 田 浩 子	マイロ	奈良県	ジャックラッセル	46

■ フリーフライトチャンピオンシップ 入賞チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	澤 幹 子	AILA	大阪府	ボーダーコリー	212.3
2	間 美 加	Digital	福岡県	ボーダーコリー	199.4
3	澤 幹 子	SID	大阪府	ボーダーコリー	178.4

■ シニアドッグの部 決勝進出チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	宮 迫 裕 二	TRAD	京都府	ボーダーコリー	84
2	遠山由美子	SARA	神奈川県	ボーダーコリー	70
3	河 野 和 則	ラブ	大阪府	ラブラドル	67
4	中 川 祐 子	クララ	茨城県	ボーダーコリー	53
5	松 本 毅	NOEL	青森県	ボーダーコリー	51

■ ペアの部 決勝進出チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	八幡瑛菜・島本圭悟	Lark	徳島県	ボーダーコリー	54
2	安田教子・安田伸之	POOKY	神奈川県	ボーダーコリー	49
3	麻生実希・田口京介	フレイヤ	福岡県	ボーダーコリー	46
4	池谷愛美子・池谷岳人	LIO	埼玉県	ボーダーコリー	41
5	菅野洋子・菅野欣一郎	ウィンディー	山形県	ボーダーコリー	40

■ ユースオープン(個人)の部 入賞チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	五十嵐拓也	Barca	福井県	ボーダーコリー	70
2	深 谷 浩 之	九十九	岐阜県	ウィペット	66
3	佐 野 貴 敏	花恋	東京都	ボーダーコリー	58

■ ジュニアオープンの部 決勝進出チーム及び成績

順位	氏 名	犬 名	出身地	犬 種	ポイント
1	遠 藤 匠 真	なな	埼玉県	ボーダーコリー	35
2	富 恵 圭 人	あんず	福岡県	ボーダーコリー	27

■ ユースオープン(団体)の部 入賞チーム及び成績

順位	チ ャ ム	氏 名	犬 名	犬 種	ポイント	合 計
1	チーム福岡	田 口 京 介	フレイヤ	ボーダーコリー	80	256
		川 嶋 久 美	SWAN	ボーダーコリー	66	
		竹 内 敏 洋	Alex	ボーダーコリー	61	
		富 恵 博	らっきょ	ボーダーコリー	49	
2	チーム東京	佐 野 貴 敏	花恋	ボーダーコリー	92	218
		天 野 佳 子	杏	ボーダーコリー	58	
		高 木 里 美	ロビン	ボーダーコリー	38	
		橋 間 優	紅	ウィペット	30	
3	チーム兵庫	辻 際 清 一	Samantha	ボーダーコリー	70	211
		長 谷 哲 哉	梵天丸	ボーダーコリー	68	
		上 田 光 子	桜子	ゴールデン	44	
		上 田 隆 行	桃子	ゴールデン	29	





CHALLENGE
C U P
2 0 1 2

チャレンジカップ2012

2012.12.9(SUN) 於:茨城つくば／兵庫淡路

12月9日チャレンジカップ「部門別(東日本／西日本)チャンピオン決定戦」が開催されました。

東日本の会場は、茨城つくばでの開催となりました。太陽の日差しもあり 12月の師走とは思えぬ暖かい気候の中ほのほのといきました。

西日本の会場となった淡路島国営明石海峡公園では、この日、強い寒波の影響で、一時雪が降る状況となりましたが、フリスビードッグを楽しむ選手の熱き思いのほうが強く、ノミネート選手の皆様は自分たちのプレーに集中していました。

両会場共に、例年よりも少ないながらも、応援するフリスビー仲間や一般見学者が多く見守る中で、それぞれの戦いを繰り広げ、各部門のチャンピオンが決定しました。

チャレンジカップは、チャレンジ部門／小型犬部門／キッズ(こども)部門／レトリブ部門／トライアルボールドッグ部門で構成されます。年間の予選会で一定の成績を収められた方がノミネートを受け、一年の締めくくりとして東日本／西日本に分かれてチャンピオンを決定します。

フリスビードッグは飼い主と愛犬とのコミュニケーションスポーツ。貴方も愛犬と賞賛を称え合える舞台にチャレンジして見ませんか？きっと満足気な愛犬の顔が見られることでしょう！

2013年度も会場にてお待ちしております！！

**茨城
つくば**



**兵庫
淡路**



**茨城
つくば**

チャレンジクラス

優勝 水野 潤 & 太陽

今年、自分たちが出場することが出来た大会がチャレンジカップであり、太陽が初めて出場できた大きな大会でした。ユースオープンも考えてはいましたが、とにかく水野家最後の犬ときめ大事に育てたかったので、去年は宇宙と地球に大会を一年間休んでもらって、太陽の為に川原でトレーニングの毎日でした。

太陽は、もともと権者の種犬になることが決まっていた犬でしたが、家族で年に一度の犬の里帰りに、権者に遊びに行った時に「絶対に見るだけだよ。」と言って出して来た犬が太陽で、奥さんが一目見てほれこんでしまい、どうしても欲しいと夕方 5 時から午前 1 時まで犬舎のおじさんと話して、やっと譲ってもらえることになった、大切な息子です。

引き取りの日は、忘れもしない 3 月 12 日。

大震災の翌日であり、それでも太陽と会いたくて車で向かったものの、清水で午前 8 時～午後 4 時まで通行止めにあってしまい、ただ待つこと 8 時間。でも、犬舎について大きくなった太陽に会えたときは、二人とも喜びで疲れが全部ふっとびました。

宇宙と地球を見て太陽は何も教えることなくここまでこれたことを感謝しています。JFA の競技に出場させて頂き、JFA のみなさんからいろいろなことを教えて頂いたことを感謝しています。

自分たちは、とにかく犬といっしょに楽しく生活することが一番だと考えていますが、少しでも上のランクの競技へ出場できるように宇宙と地球と太陽と頑張っていきたいと思っています。

今年一年間、初めて参戦した太陽君、最後に大きなトロフィーをありがとう。来年もマイペースで進化しようぜ!! 俺もがんばるね?

JFA のみなさん、2013 年シリーズもよろしくお願いいたします。



**茨城
つくば**

キッズクラス

優勝 平岩美紀 & AQUA

チャレンジカップキッズクラスで優勝できて本当にうれしかったです!

キッズクラスに出られるのも今年が最後だったので、このチャレンジカップを目標に青森県や山形県などの大会にもチャレンジしました。

初めてのチャレンジカップの参加でとても緊張しました。1 ラウンドは AQUA がはじいてしまったり、自分のミスだったりであまりポイントを取ることができませんでした。

2 ラウンドは、1 ラウンドと同じミスをしないように頑張ってポイントを取ることができました。

AQUA は手元がわるくてポイントがあまりとれないときもありますが、AQUA とフリスビーをすることが大好きです。



うまく出来なかったこともあったがっかりしたこともたくさんありましたが、大会に参加して楽しかったことはもっとたくさんありました。

キッズクラスは最後でしたが、これからも AQUA とフリスビーを続けていきたいです。

AQUA! これからもがんばるぞー!

**茨城
つくば**

レトリブクラス

優勝 池本英彦 & Soul

今年の『チャレンジカップ 2012in つくば レトリブクラス チャンピオン決定戦』は僅か 2 チームだけの出場でしたが、私にとっては、とても嬉しく、楽しい大会となりました。

恥ずかしながら Soul は、6 歳半になった今でも周囲が気になってゲームに集中する事ができず、投げたディスクをマイペースで拾いに行くのがやっとな。ひどい時にはそのまま脱走ということも度々でした。

今回も途中で力を抜く場面がありましたが、キャッチも出来たし、最後まで彼なりに頑張ってくれた事が嬉しかったです。

少々話が逸れますが、これまでブルース、ジャズ、Soul、Funk の 4 頭のゴールデンとともにディスクドッグ大会に参加し、その都度思い出を作ってきて丸 13 年が経ちました。

特に先代犬のブルースとジャズとでシニアの大会に出ていた頃の、ライバルとの思い出が一際です。

今回、出場したチームが当時のライバルでもあったアル家でした。お互いがパートナーを、ブルースとジャズから Soul、アルからジャハへと変えてのマッチゲームとなりました。

実際にコートの中で走ったのは Soul とジャジャでしたが、きっと天国のブルース、ジャズ、アルも一緒になって走っていたと思います。

過ぎ去っていった楽しかった時間と、今の楽しい瞬間。それがひとつに重なったチャレンジカップでした。そして、またひとつの思い出が作られました。



**茨城
つくば**

トライアルボールドッグゲーム(OP/SD/SS)

優勝 大橋雅人 & KT

★トライアルボール 3 冠達成しました!★

というよりは「参加・ん!」出来たお陰で「3 冠」頂けちゃいました!! と言った方が良いですね、所謂、棚からなんとかです!(^_^)!

ふりかえると今年のチャレンジカップへの道は、そこそこ大変でした。

「10 大会&ポイント制」になり、暑い時期は避け計画的に出場するつもりが、2 月～4 月は私が怪我して松葉杖、復帰できたと思ったら、今度は、今年 8 歳になる 2.7kg の息子『KT』が背筋痛でダウンし、計画は真っ白…。

暑い時期、小さな息子には大変無理をさせてしまいました。10 月頃からは、チャレンジカップで競技が成立するかどうか? 今度はやきもきでしたし…。

そんなこともあって、4 年前から目標にしていたこの大会で“初優勝”できて『本当にとてもとても嬉しいです!』優勝の夜は、孝行息子の大好きなリングで乾杯? しました!!

…もしかしたら「憧れのフリスビーが出来るかも?」と始めたボールですが、これからは息子の年齢を考え、皆さまの雄姿を拝見させて頂きながら「フリスビー競技の合間にちょこっと」ボールでお邪魔したいと思っています。

継続して下さっている JFA 本部の皆さま、カッコよくフリスビーをされている皆さまのご理解あつての競技なので、これからも



よろしくお願い致します。

最後に、一緒に戦って下さった「平岡のあちゃん」。高得点で“すくあせり”しました。是非、これからよろしく!!

関西のしんしあちゃん。2度目の3冠おめでとう!! やっぱりすごいなあ!!

それから、かあちゃんとリンダ。3位おめでとう!! (内輪ですみません。)

兵庫 淡路

チャレンジクラス

優勝 中畑祐二 & BLADE

子どもの頃にテレビで見たときから、いつかはボーダーコリーとフリスビーをしたい!と夢見ていました。

念願のボーダーコリーを迎え入れ試行錯誤で始めたフリスビー。先住犬の BEAT は性格も良く、無茶なスローも臆せず飛び込んでくれ、去年はチャレンジカップで3位入賞も出来ました。

そんな折、BLADE と出会いました。BLADE は本当に素直で、ちょっと激突型ハイパーな面もありますが。。日常では小さな姉ワンコのショコラ&アクアに怒られてばかり。。それもそのはず、踏んずけてるんだもん(汗) ファザコンでいつともくっついて離れない BLADE、1歳半のでっかいバビー。。

BLADE を育てるにあたって、もう少しボーダーコリーの事を知っていたら BEAT の能力をもっと引き出してあげれたのに。。と思っていたので、BLADE の時は細かく、ゆっくりと色々な事を進めました。

そんな事を知ってか知らずか BLADE は毎日楽しく遊びながら、立派にディスクドッグへと成長してくれました。

BLADE の最初の目標、チャレンジカップ優勝☆

その目標がこうして実現出来た事は、本当に嬉しい事です。

BLADE がここまで育ったのは、お里のママと、JFA を介して知り合った方々の助言のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。



まだまだ学ぶ事もたくさんで、至らない点だらけな飼い主なんですけど、愛犬と共に大好きな芝の上で、楽しむ事を忘れず、上を目指して歩いて行きたいと思います。

皆様、これからもよろしくお願い致します!

兵庫 淡路

小型犬クラス

優勝 鹿島美登里 & リフェル

鼻ペチャ犬でフリスビーなんて…。

そう思う人は少なくないだろう。

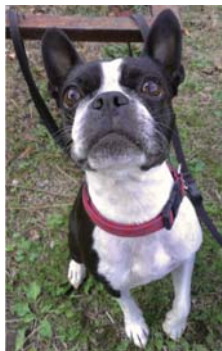
私も、そう思っていた。

きっかけは、たまたまもらったフリスビー1枚。

うちの犬が使うことはないだろうと思いき、しばらく、お蔵入りしてたのだが、ある日、せっかかもらったのだから、まあ1回くらい投げてみるか…とポイッ。

するとリフェルが喰い付きキャッチ! 狂喜乱舞で走り回る。

今まで与えてきた、どのオモチャよりも反応が良く、キラキラした目でフリスビーを見つめ、喜びはしゃいだ。



「えっ?! アンタこれが好きなん?」

ここからリフェルとのフリスビー生活が始まり5年が過ぎ、迎えた今回のチャレンジカップ。

風も強く、あまりよくないコンディションの中、私の下手っぴスローをリフェルがフォローしてくれ、運よく優勝という大きな賞を頂きました。

いつもキラキラした目でディスクを追いかけ、かっこよくキャッチを決めてくれるリフェルに、そして、へっぽこスローにめげそうになる私に声をかけ応援してくださる皆さんに感謝、感謝の1日になりました。

ありがとうございました。

これからもよろしくお願い致します。

兵庫 淡路

レトリブクラス

優勝 三浦ひとみ & 小梅

2012年4月に初めてJFAの大会を見学させて頂き、人と犬の息の合った競技に感動し、6月24日トライアルボールでデビューしました。

皆さんが投げているのを見ていると、ディスクはきれいに飛んでいる。

簡単に投げれるものだと思うと上手く投げれない…。もう嫌になりました。

でも、ちゃんと飛んでくず、どこへ飛んでくるか分からないディスクを小梅は一生懸命走って持ってきてくれる。

「小梅! フリスビーする?」と聞くと、「するわよー!」と言っているかのように、外へ飛び出していく。

私の身勝手な感情で、小梅が楽しくしていることを取り上げたら私は最低な飼い主だと思い、必死で練習しました。

練習で何とか投げれるようになったものの、本番になるとうまく投げれない。今度は主人に「やめるか?」と言われました。

週末には練習につき合ってくれて、私に指導してくれる主人の言葉を私は素直に受け取れず、けんかばかりしました。

なにくそ! という気持ちと、私には素質がないんだな、やめたほうがいいのかなという気持ちが入り混じりながら、練習すればいつか必ず成果が出ると信じてがんばりました。

そして、チャレンジカップの当日を迎え、またいつもみたいに本番でうまく投げれないかも…、という不安が爆発しそうでしたが、今日はいつもの練習だと自分に言い聞かせ、本番に挑みました。

1Rの1投目を投げたとき、うしろで主人が「OK! OK!」と言った言葉が耳に入り、すごく気持ちが楽になりました。

最後の決勝ラウンド、1投目を投げたあとの主人の力強い「OK~!」の声が聞こえた時、毎日がんばって練習してよかったと思いました。

なかなか上達しない私にいつも指導してくれ、いろんな面で支えてくれた主人に感謝。へなちょこディスクを追いかけ走ってくれた小梅に感謝。はげましてくれたJFAの先輩に感謝。

フリスビーを初めて半年。やっとスタートラインに立つことができました。

2012年12月9日、この日は私にとって最高の日になりました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、小梅と楽しくがんばっていきなりたいと思います。

ありがとうございました。



兵庫
淡路

キッズクラス

優勝 麻生実希 & AQUA



去年、子供大会・ユースオープン大会で頑張ったお兄ちゃんに負けたくないと思い、私は今年から、子供大会にチャレンジしました。

田口さんとフレイヤのおかげで、ペア大会にも出場させていただきました。

ペア大会では、ファイナルに行けて嬉しかったです。しかも、三位入賞ができたのも嬉しかったです。

子供大会は、チャレンジカップとなりました。去年みたいに大勢での競技にはならなかったのが残念でした。でも、「結果は結果」とパパが言ってくれたのでよかったです。

優勝と準優勝はとても嬉しかったです。REM くん・AQUA くん一年間ありがとう！

一年間応援してくださいましたディスクドッグ福岡のメンバーの皆様はじめ、いろんな方の応援いっぱいありがとうございました。

来年度は、ユースオープン大会でがんばります。

これからも応援よろしくね。

兵庫
淡路

トライアルボールドッグゲーム(OP/SD/SS)

優勝 柳本英幸 & しんしあ

今回、参戦記を依頼されまして私は3冠への軌跡を書かせて貰おうと思います。

2007年のチャレンジカップで私達は2冠を達成しました。その帰り友人と話をしていた時です。

当時、OPクラス最大のライバルだった小林孝光&そらペアがボールを引退すると言われました。

ライバルがいなくなる寂しさを感じましたが小林さんは私に「しんしあなら絶対3冠取れるからこれからも頑張る」と言ってくれました。

この時からだと思います。「3冠」が最大の目標になったのは。



そして2008年1月の大阪堺大会でトライアルボール初の3冠を達成する事が出来ました。

でも、2009年2月にしんしあは重度の椎間板ヘルニアを患って立つ事も歩く事も出来なくなりました。

ですが、腕の良い獣医さんの手術と地道なリハビリの結果、しんしあは

普段の生活に支障の無い所まで治る事ができました。

でも、ヘルニアの後遺症で左後脚にマヒが残りました。

もうドッグスポーツは辞めようとも思いましたがトライアルボールへの熱意は捨てられず続ける事にしました。

そして2010年のチャレンジカップで私達は最大の目標だったチャレンジカップ初の3冠制覇を達成する事が出来ました。

2011年、しんしあの足の事を思い引退を考えていました。でも、関東の同じパピヨンのペアから勇気づけられ続ける事が出来ました。

そして2012年、私はこの年が3冠のラストチャンスだと思っていました。

でも、8歳という年齢に加え足にハンディを持つしんしあには無理を強いてしまいました。

そして迎えた2012年チャレンジカップ。強風と時折雪の降るコンディションの中しんしあは一生懸命走ってくれました。

そしてしんしあは優勝を決め私達は2度目のチャレンジカップ3冠を達成する事が出来ました。

最後になりましたがいつもしんしあを応援して下さい JFA のスタッフの方々、そして友人達、本当に感謝しております。

これからも私達はトライアルボールに参加するペア達の目標で居続けたいと思います。これからも宜しくお願い致します。

茨城つくば会場リザルト

● チャレンジクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	水野潤	太陽	東京都	ボーダーコリー	116
2	平岡啓子	あびィ	東京都	NZヘディングドッグ	58
3	伊芸海渡	MAX	埼玉県	ボーダーコリー	44

● レトリブクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	池元英彦	Soul	千葉県	ゴールデン	64
2	大島康雄	ジャジャ	埼玉県	ボーダーコリー	57

● キッズクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	平岩美紀	AQUA	宮城県	ボーダーコリー	50
2	大野成也	アイル	宮城県	ボーダーコリー	46
3	大野優陽	アイル	宮城県	ボーダーコリー	42

● トライアルボールドッグゲーム OPクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	大橋雅人	KT	神奈川県	パピヨン	36

● トライアルボールドッグゲーム SDクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	大橋雅人	KT	神奈川県	パピヨン	58

● トライアルボールドッグゲーム SSクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	大橋雅人	KT	神奈川県	パピヨン	76
2	平岡啓子	のあ	東京都	トイプードル	70
3	大橋渉子	リンダ	神奈川県	パピヨン	57

兵庫淡路会場リザルト

● チャレンジクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	中畑祐二	BLADE	愛知県	ボーダーコリー	99
2	麻生結希	AQUA	福岡県	ボーダーコリー	91
3	川崎良輝	KANSAI	兵庫県	ラブラドル	69

● 小型犬クラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	鹿島美登里	リフェル	兵庫県	ボストンテリア	28
2	神林里子	Jack	奈良県	ウェルシュコーギー	28
3	清水英男	小春	滋賀県	パピヨン	17

● レトリブクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	三浦ひとみ	小梅	三重県	ボーダーコリー	111
2	中川ゆかり	アレス	滋賀県	シェルティ	106
3	渥美貴久	紅音	滋賀県	シェルティ	102

● キッズクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	麻生実希	AQUA	福岡県	ボーダーコリー	28
2	麻生実希	REM	福岡県	ボーダーコリー	13

● トライアルボールドッグゲーム OPクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	柳本英幸	しんしあ	大阪府	パピヨン	113
2	石川理絵	LEON	大阪府	ボーダーコリー	84
3	三浦ひとみ	小太郎	三重県	シェルティ	84

● トライアルボールドッグゲーム SDクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	柳本英幸	しんしあ	大阪府	パピヨン	80

● トライアルボールドッグゲーム SSクラス

順位	氏名	犬名	出身地	犬種	ポイント
1	柳本英幸	しんしあ	大阪府	パピヨン	66



ニッケペットケア株式会社



PRO
PLAN[®]
プロプラン



ARTEMISTM

HOLISTIC APPROACH TO PET FOODTM



BLACKWOOD[®]
Premier Nutrition

SKYDOG SPORTS Vol.23

2013年1月号

発行元 日本フリスビードッグ協会

〒950-0993 新潟県新潟市中央区上所中 2-1-6
TEL.025-280-1256 FAX.025-280-1257
URL:<http://www.frisbeedog.co.jp>